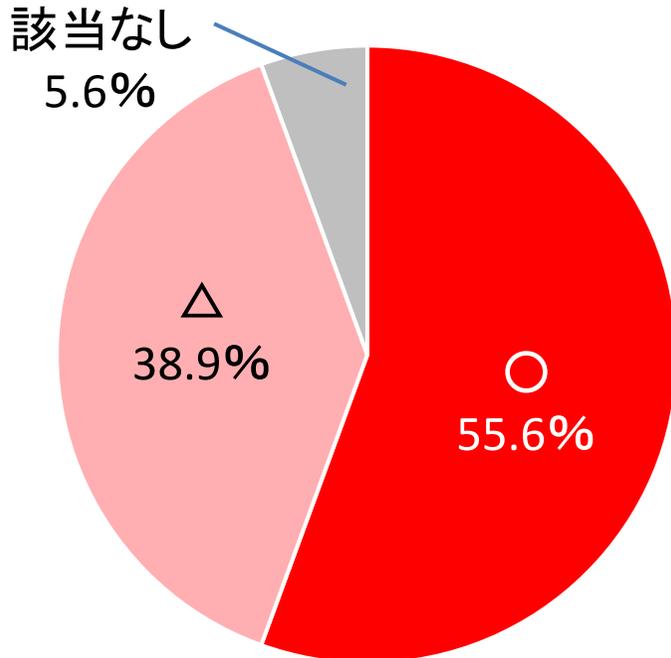


達成状況の評価方法

戦略プログラム36項目をにつき、R3目標を基準に、以下の3段階で自己評価

○	R3目標達成に向け、順調に推移
△	課題はあるものの、R3目標達成(一部達成含む)は可能
×	課題が多く、R3目標達成は困難
該当なし	計画上、R3目標を設定していないもの等

全体内訳

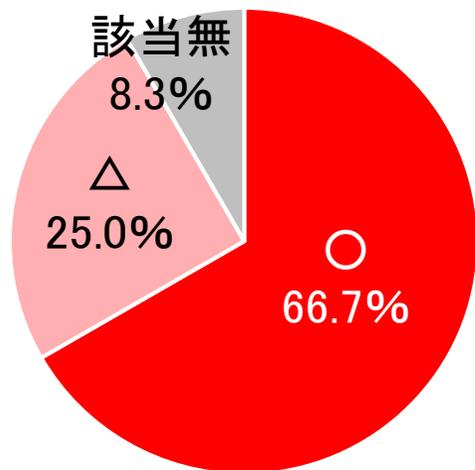


- R3目標達成が可能な項目(順調に推移&課題あり)は**34項目(94.5%)**
- 現時点で達成困難な取組は無し

○	20	55.6%
△	14	38.9%
×	0	0.0%
該当無	2	5.6%
計	36	100.0%

基本方針別内訳

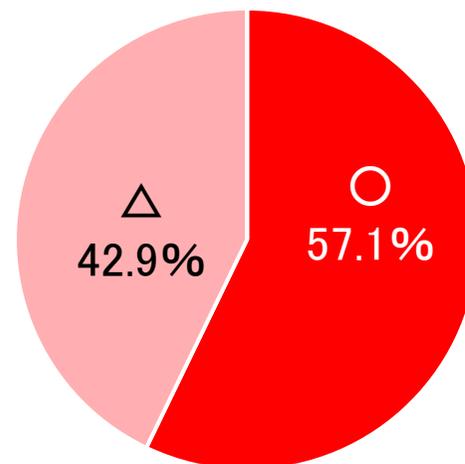
1. 安全・安心な運行体制の確保



〇R3目標達成が可能な項目は
11項目(91.7%)
〇現時点で達成困難な取組は無し

〇	8	66.7%
△	3	25.0%
×	0	0.0%
該当無	1	8.3%
計	12	100.0%

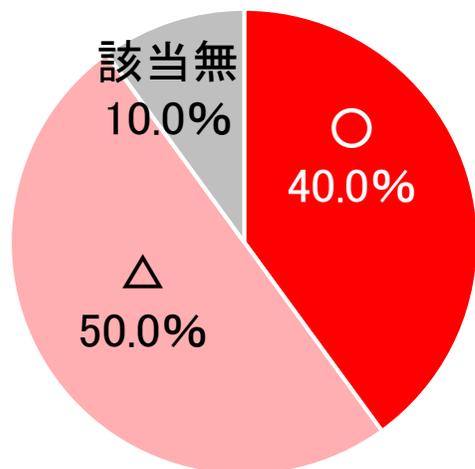
2. 質の高いサービスの提供



〇R3目標達成が可能な項目は
14項目(92.8%)
〇現時点で達成困難な取組は無し

〇	8	57.1%
△	6	42.9%
×	0	0.0%
該当無	0	0.0%
計	14	100.0%

3. 経営基盤の強化



〇R3目標達成が可能な項目は
10項目(100.0%)
〇現時点で達成困難な取組はなし

〇	4	40.0%
△	5	50.0%
×	0	0.0%
該当無	1	10.0%
計	10	100.0%

戦略プログラム 取り組み状況一覧 (R3第2四半期)

基本方針	施策	戦略プログラム項目	LP	主担当	整理番号	取組年次計画			現時点での進行評価	現在の取り組み状況等
						取組内容	2020(R2)	2021(R3)		
1 安全・安心な運行体制の確保	(1) 安全対策の徹底									
		職員研修の充実	○	管理班	1-1-1	安全管理研修 年末年始安全総点検研修 先進他事業者ノウハウ導入	コロナの影響により資料配布のみ 実施 -	実施 ⇒ 調査	△	・「安全管理研修」は、新型コロナの影響により延期となったが、11月に実施予定 ・先進地事業者ノウハウ導入に関しても新型コロナの影響によりスケジュールが決まっていないが、感染状況を見て早期の視察を検討中
		運転技能の向上	○	管理班	1-1-2	フォローアップ研修(2年目の運転士) 運転実務検定 運転指導講習会受講	- 実施 コロナの影響により見合わせる	新規実施 ⇒ 実施	○	・今年度拡充した乗務経験2年目への「フォローアップ研修」を6月に実施(該当者4名) ・運転実務の評価を行う「運転実務検定」については、9月16日時点で54名実施(残りの31名についても今年度中に実施予定) ・運転指導者に対する講習会については、10月に実施予定
		運輸安全マネジメントの推進		管理班	1-1-3	交通安全推進委員会開催 運輸安全マネジメント内部監査	毎月開催 毎年開催	⇒ ⇒	○	・交通事業安全推進委員会を毎月開催し、事故発生状況の情報共有を図るとともに、ヒヤリ・ハット情報やこれまでの事故統計から事故防止策等の立案、進捗管理、見直しを実施 ・運輸安全マネジメント内部監査については年内に実施予定
		安全意識の醸成		管理班	1-1-4	ヒヤリ・ハット情報収集箱の設置・掲示 (投稿がない場合)アンケート調査による事例の抽出 事故0の日安全講話	実施 - 実施	⇒ 実施 ⇒	○	・運転士を班毎の管理体制とし、LINEを活用したヒヤリ・ハット情報の収集を導入するとともに、その対策等をフィードバックする仕組みを構築 ・「事故0の日」安全講話は、10月12日に実施予定
	(2) 災害対策等の強化									
		災害時に対応できるダイヤ作成	○	管理班	1-2-1	ダイヤ作成	-	3ダイヤ	○	・災害時等に乗務員の確保が困難な場合にも迅速に対応できるよう、現行ダイヤより10%、30%、50%程度削減したダイヤを検討中
		災害時の業務体制強化		総務経理班	1-2-2	「熊本市交通局防災計画(仮称)」等の整備・各種マニュアルの点検 各種防災訓練 車両避難シミュレーション	- 実施 -	整備 ⇒ 実施	△	・熊本市交通局防災計画(仮称)の策定に向け、既存のマニュアルや関連要綱等の確認を実施予定
		テレワークの推進		総務経理班	1-2-3	モバイルPC等の導入 テレワーク実施日の導入	- -	実施 検討	○	・9月、テレワークや外勤、災害時に活用できるモバイルPCを新たに2台配備

(3) 安全輸送を支える基盤設備の強化								
軌条更換		施設班	1-3-1	軌条更換	・競輪場通り 交差点～水前 寺終点	・大甲橋左岸 ～九品寺交差 点 ・動植物園入 口電停付近	○	・動植物園入口電停付近の軌条更換工事については施工中(2月完了予定) ・大甲橋左岸～九品寺交差点の軌条更換工事については今年度工事予定 ・交通局前渡線更換工事については今年度工事予定
電柱建替		施設班	1-3-2	電柱建替え	—	—	該当無	・翌年度の建て替え箇所について調査中
車両の延命化対策 (旧型車両: 1200形・1350形)		上熊本車両工場	1-3-3	交流冷房機への更新	—	実施	○	・生産中止で部品調達が困難な直流冷房機を交流冷房機へ更新するために、交流冷房機更新業務の契約手続き中(2両分) ・翌年度に上記更新作業と併せて、車体内外部の補修及び照明LED化を実施予定
				車体内外部の補修及び窓枠等の取替	—	検討		
				照明等のLED化	—	検討		
車両の長寿命化対策		上熊本車両工場	1-3-4	VVVFインバータ制御装置更新	—	検討	△	・空調装置、空調制御装置の製作業務は、契約済(2両分) ・翌年度に上記空調装置、空調制御装置の取り付け工事を実施予定 ・VVVFインバータ制御装置更新については、工法等を検討中
				空調装置更新	—	実施		
				空調制御装置更新	—	実施		
事故防止対策		施設班	1-3-5	軌道敷カラー舗装・路面標示	—	3箇所	○	・自動車との接触事故が多い新水前寺駅前交差点他4箇所に、軌道敷カラー舗装を施工中(10月完了予定) ・9月に自動車との接触事故が多い段山町電停付近の軌道敷に、ポールコーンを設置済 ・運行管理カメラについては、通町筋電停改良終了後に設置予定(3月完了予定)
				弾性ポールコーン設置	2箇所	1箇所		
				運行管理カメラの設置	2電停	—		

基本方針	施策	戦略プログラム項目	LP	主担当	整理番号	取組年次計画			現時点での進行評価	現在の取り組み状況等
						取組内容	2020(R2)	2021(R3)		
2 質の高いサービスの提供	(1) 輸送需要等への的確な対応									
		計画的な車両更新	○	上熊本車両工場	2-1-1	超低床電車購入	—	検討	○	・既存車両を連結した仮想車両を用いて牽引等の試験走行を実施するなど、運用における課題の洗い出しを実施 ・多両編成車両の導入に向け、契約手法や有利な補助金の活用について検討中
					旧型車の廃車	—	—			
		運行ダイヤの見直し	○	管理班	2-1-2	ダイヤ改正	日祝ダイヤ	コロナ対応 土日祝ダイヤ として見直し	△	・平日朝の通勤・通学ラッシュ時間帯における混雑緩和対策として、一部区間の一部電車について折り返し運行を検討しており、11月頃に試験運行を行う ・土日祝ダイヤについても、乗車率等のデータを用いて輸送需要に応じたダイヤを検討し、R4.4月に改正予定
					急行運行	検討	⇒			
		多両編成車両に対応した施設改修	○	施設班	2-1-3	電停改修	—	測量設計①	○	・多両編成車両に対応した電停改修に向け、測量設計を契約手続中 ・多両編成車両に対応した車両工場の改修に向け、建築保全課と内容協議及びR4年度実施の設計業務の予算要求に向けた見積依頼中
					車両工場の改修	—	検討			
	(2) 誰もが快適に利用できる環境整備									
		デジタルサイネージの導入	○	管理班	2-2-1	デジタルサイネージ設置	1電停	8電停	△	・補助金の内示割れにより、R3当初に計画していた全電停には設置できなかったものの、設置可能な1電停(熊本城・市役所前)には2月頃設置予定 ・R4年度以降は他の補助金も活用し、今年度できなかった分も含めて整備予定
		運賃収受のキャッシュレス化	○	営業推進班	2-2-2	新たな運賃収受方法の導入	実施検討	QRコード決済 導入	△	・QRコードは課題も多く実施困難であるものの、visaタッチなど他の方法を検討中
					1日乗車券のモバイル化	スマホアプリ 導入	新たな運用 検討			
		インターネットを活用した情報発信	○	経営企画班	2-2-3	ホームページの改修	—	—	○	・ツイッターについて、これまでの広報内容に加え、100周年に向け機運を醸成につながるような情報も発信していく予定
					ツイッター広報	実施	⇒			
		電停のバリアフリー化		施設班	2-2-4	電停改良に伴う電線張替え	動植物園	辛島町	○	・辛島町、動植物園入口において軌道移設・電停改良工事を施行中(2月完了予定) ・通町筋電停改良工事についても契約手続中(3月完了予定)
				軌道移設・電停改良	辛島町 動植物園入り 口	⇒ ⇒				
	定期券の利便性向上		営業推進班	2-2-5	スマートフォンを活用した定期券の導入	実施検討	導入	△	・モバイル定期券は10/1から運用開始 ・6ヶ月定期の検討は未着手だが、今後運賃改定と併せて検討していく予定	
				6ヶ月定期の新設	—	検討				
	利用者ニーズの調査		経営企画班	2-2-6	WEBアンケート調査	実施	⇒	○	・例年の利用者満足度調査に加え、車両に関するアンケートを実施(11月実施予定)	
	乗車マナー向上・車内での迷惑行為防止		管理班	2-2-7	ポスターによるマナーアップ啓発	実施	⇒	○	・マナーアップポスターについては、熊本デザイン専門にポスターデザインを依頼 ・今後、新型コロナウイルスの感染拡大状況等も踏まえ、沿線施設等への掲示を検討	
				女性優先車両の導入	試験導入 方針決定	実施				

(3) 公共交通ネットワークの利便性向上								
他公共交通機関との乗り換え利便性向上	○	営業推進班	2-3-1	他公共交通機関と連携した新たなサービスの導入(MaaS化の推進)	協議・検討	実証実験 効果検証	△	・市が主催するMaaS化推進に向けた勉強会に参加し、利便性向上に向けた新たなサービスを検討中
バス事業者との共同経営の推進	○	経営企画班	2-3-2	共同経営計画の策定	検討	計画策定	△	・第2期共同経営計画策定に向け、適宜WGやバス事業者との合同会議を開催 ・バスと連携した新たなサービスについても検討中
				バスとの新サービスの実施	検討	方針決定 実証実験		
(4) 観光・文化施策や地域との連携								
観光・文化政策との連携	○	営業推進班	2-4-1	観光担当部局と連携したPR	協議	実施	○	・電停での観光・文化情報発信は実施中。デジタルサイネージの増設に併せて順次拡大予定 ・企画電車についてはR3.3月にアート市電を実施し、7月からは101号にて「走る市電ミュージアム」を運行中 ・その他、COCOROを活用した企画電車等を検討中
				観光・文化情報の発信	実施	⇒		
				企画電車・熊本の市電文化PR	検討	実施		
開業100周年記念事業		経営企画班	2-4-2	記念セレモニーの実施	—	—	○	・100周年イベントや記念誌発行に向けたスケジュールを検討しているほか、過去の資料等を収集中
				記念誌の発行	—	資料収集等 作成準備		
				その他の記念事業 (制服刷新他)	—	内容検討		

基本方針	施策	戦略プログラム項目	LP	主担当	整理番号	取組年次計画			現時点での進行評価	現在の取り組み状況等
						取組内容	2020(R2)	2021(R3)		
3 経営基盤の強化	(1) 安定的な人材確保と育成									
	乗務員の育成	○	総務経理班	3-1-1	各種検定の支援	—	検討	△	・障がい者の乗車を想定したバリアフリー対応研修や救急救命講習等の実施を検討中(令和4年2月実施予定)	
					救急救命講習	—	実施			
					接遇研修	実施	⇒			
	技術継承研修の実施	○	施設班	3-1-2	外部講師による研修机上・現場研修の拡充	実施	⇒	△	・外部講師による研修及び先進地視察については、新型コロナの影響により現時点では見通しが不透明であるが、実施時期・手法等を検討中	
					現地での技術指導	実施	⇒			
					先進地(他都市)視察	—	実施			
	職員表彰制度		総務経理班	3-1-3	規定、要綱の整備	検討	実施	△	・既存の表彰制度の見直し及び新制度の創設に向け、8月、乗務員向けアンケートを実施	
					新たな表彰類型の導入、運用	検討	⇒			
					既存の表彰類型の見直し	検討	⇒			
	(2) 収益力の向上									
	広告収入の増収		営業推進班	3-2-1	営業活動の強化	実施	⇒	△	・営業活動の強化に向け、今後、指定広告代理店に対して定例的なDMIによる営業を実施予定 ・新規媒体は、スマート電停のデジタルサイネージを活用予定	
					新規媒体の導入	検討	実施			
	不用品の売却		総務経理班	3-2-2	不用品買取業者へ売却	実施	⇒	○	・10月より、不要となった備品を出品する官公庁オークションを開始	
					官公庁オークション	実施	⇒			
	資金運用方法の見直し		総務経理班	3-2-3	余裕資金による運用	検討	実施	該当無	・コロナ禍による運賃収入等の減少により余裕資金が見込めないため、資金運用自体難しい状況	
インターネットを活用した新たな財源の確保		総務経理班	3-2-4	クラウドファンディング等を活用した資金調達	検討	⇒	△	・多編成車両の導入等に向け、自主財源を確保するべくクラウドファンディングやふるさと納税の活用について検討中		
(3) 更なる経営の効率化										
施設の最適化及び計画的な更新	○	施設班	3-3-1	変電所の維持管理	—	—	○	・施設の適正化に向け、関係法令等について整理中		
				施設の適正化	課題整理 検討	⇒				
信用乗車制度の導入		管理班	3-3-2	信用乗車導入	—	検討	○	・信用乗車の導入について、他都市事例や導入に向けての課題等の洗い出しを実施		
(4) 経営形態の抜本的見直し										
経営形態の検討と雇用環境の見直し	○	経営企画班	3-4-1	経営形態の見直し	検討	経営分析 方針決定	○	・10月末の委託業者からの最終報告も踏まえ、最適な経営形態について公平・公正な視点で比較・検討し、庁内外との議論を経て年度内に方針を決定予定		